

水産研だより

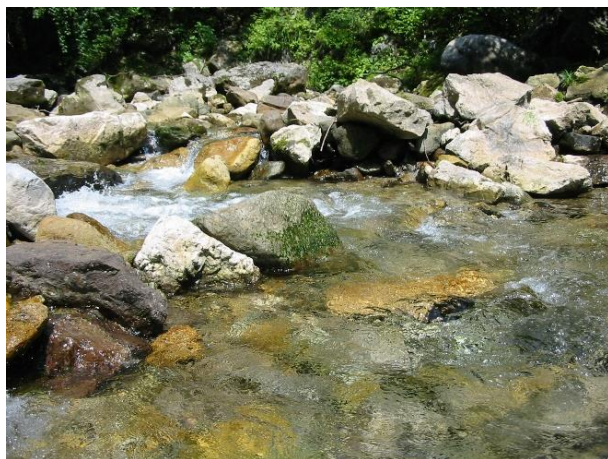
【今回の内容】

- 1 山県市の神崎川で再確認されたカワノリ
- 2 ドローンを活用したカワウ被害対策
- 3 (独)国際協力機構(JICA)との連携研修

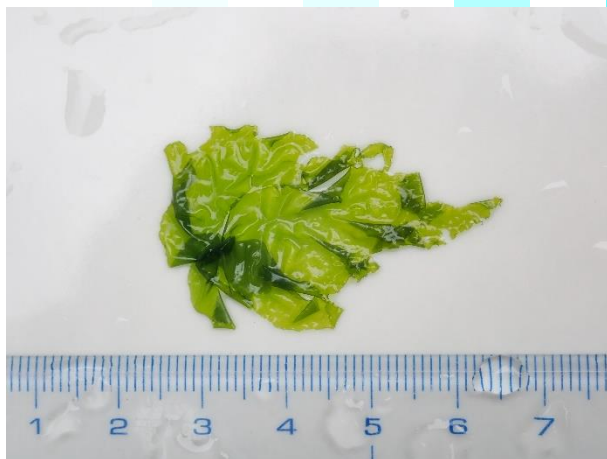


チョウザメ
採卵の
様子

1 山県市の神崎川で再確認されたカワノリ



神崎川



カワノリ (2020年12月)

カワノリは、関東・東海・近畿・四国・九州地方の一部の河川にのみ分布する淡水産の食用藻類です。カワノリは、古くから利用されてきた川の幸のひとつですが、現在はいずれの地方でも減少が懸念されており、環境省レッドデータブックでは絶滅危惧II類(VU)に選定されています。また、奈良県や大分県には、天然記念物に指定された生育地があります。

岐阜県では、これまでに山県市・本巣市・揖斐川町の計9河川でカワノリが確認されていましたが、本巣市では1990年代を最後に、揖斐川町では1970年代を最後にそれぞれ報告が途絶しており、2010年にはカワノリが確認されているのは山県市の円原川だけになっていました。しかし、当研究所の2016・2020年の調査により、山県市の神崎川でカワノリが再確認されました。当研究所で把握している文献の範囲では、神崎川のカワノリは1975年の確認を最後に報告が途絶しており、今回の再確認は41年ぶりの報告となります。今回、神崎川でカワノリが再確認されたことにより、県内で分布しているのは2河川に増加しました。ただし、現在の神崎川では、カワノリが着生している岩は少数であり、生育状況は良好とはいえません。今後は、他の河川においても調査を実施し、県内におけるカワノリの現状を把握することが望まれます。

(下呂支所 岸)



カワノリ (2021年5月)

参考文献

岸 大弼・下本英津子・山口晋一. 2021. 山県市の神崎川で再確認されたカワノリ. 岐阜県水産研究所研究報告, 66: 7-11.

2 ドローンを活用したカワウ被害対策

カワウによる漁業被害は全国的な問題であり、岐阜県でもカワウによる食害が収まらない状況が続いています。

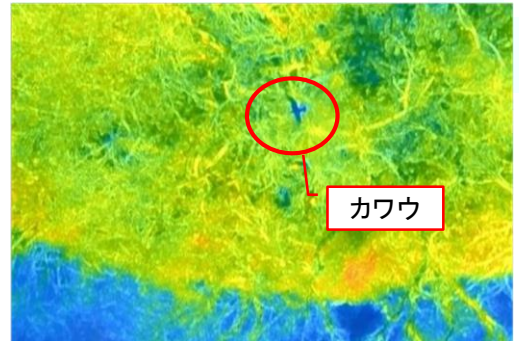
カワウは春になると河畔林等に集団で営巣地をつくり、その規模が大きくなると繁殖した個体が周辺に拡散し、営巣地が増えていくという悪循環を繰り返します。

カワウ対策を行うためには、営巣地の場所をいち早く見つけ、その生息羽数を知ることが必要となります。しかし、大河川の河原にある河畔林等は道路から遠く離れていたり、中州にできていたり、実際に現場に行くこと自体、困難な場所にあることが多く見られます。

近年、高性能なカメラを搭載し、長時間飛行できる小型の無人航空機(ドローン)が、比較的安価に市販され、各分野での利用が期待されています。

このドローンを利用するカワウ被害対策の研究が、国を中心に行われており、全国内水面漁業協同組合連合会を通じての普及が始まっているものもあります※。岐阜県においてもドローンを使用したカワウ対策について岐阜県漁業協同組合連合会と協力しながら実証研究に取り組んでいます。

特に探索分野において、「上空から観察できるため、人目につかない営巣地の早期発見が可能」、「赤外線カメラを搭載すれば肉眼では確認しにくい場所のカワウもわかりやすい」など、その効果が期待されています。



ドローンに搭載された赤外線カメラの映像
(岐阜県漁業協同組合連合会・日本ライン漁業協同組合提供)

※全国内水面漁業協同組合連合会のカワウ問題のページ
<http://www.naisuimen.or.jp/jigyoku/kawau.html>

(資源研究部 徳原)

3 (独) 国際協力機構 (JICA) との連携研修

岐阜県では、2015年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことを契機に、開発途上国の内水面漁業の発展に貢献することを目的として、2016年から研修生の受け入れを行ってきました。しかし、2020年以降、コロナウイルスの感染拡大の影響で、研修生を受け入れることが困難な状況になりました。

そのような状況のため JICA は遠隔による研修実施「小規模内水面養殖研修」を計画し、当研究所はこれに協力し講義の一部を実施することとなりました。

当研究所は、2021年10月12、13日に県内養殖場2ヶ所で研修用動画の撮影に同行するとともに、同年11月24日には研究所内において魚病診断のための解剖や水質検査に関する研修用動画の撮影を行いました。

同年11月30日には研究所から全雌アユの生産技術や、魚病診断、水質検査等に関する講義を遠隔で実施し、カンボジア、ミャンマー、パプアニューギニア、フィリピン、ベナン、カメルーンの6カ国から12名の研修生がこれに参加しました。



(漁業研修部 武藤)